

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の時間帯に利用者はドライブ等で外出し、会議への利用者の参加が無い。運営推進会議は利用者の状況を知って頂くことも大切なので、利用者が参加できる工夫の取り組みが望まれる。	運営推進会議への入居者の参加を図り、生活状況や要望等自由に話でき、又地域の知り合いとの交流ができるようにする。	①12月に2名の参加を目指す。②退屈しないように楽しみの持てる工夫を行う。お茶菓子 アルバム等 ③時間も短時間でもよいし、自由にテーブルを離れてもよい。④基本は都度交代で、全員参加を実現する。	6ヶ月
2	26	現在支援している内容が介護計画に反映されていないケースがあった。現在行われている支援内容などが計画に反映され、現状に即した介護計画の見直しと作成が行われるように取り組むことが必要である。	介護計画をチームでつくることを目指して、介護士によるモニタリングをおこなう。介護士も入居者の状態把握・ADLやIADLの評価の視点を持ちモニタリングを行う。協同・連携で介護計画を策定し、ケアの質の向上をめざす。	①カンファレンス記録・モニタリング記録用紙の整備 ②書き方の工夫を行う ③会議で記録の仕方を話し合い実行できるようにする ④職員全体であるいは個別にも内容を検討する機会を持ち適切なプランの策定につなげる。	2ヶ月
3	35	災害対策訓練で、マニュアルには法人連携が謳われているが訓練への参加が無い。水や自家発電装置を準備しているが、食糧備蓄は確認していない。火災時に利用者の安全を守るためにも訓練に近隣(法人)からの参加が望まれる。また、備蓄の準備が望まれる。	火災時に利用者の安全を図るためにも訓練に近隣(法人)からの参加を実施する。また水、食料品、日用必需物品を最低3日分は備蓄する。	火災訓練に想定する時間内に勤務する特養職員や守衛などの参加を図る。水、食糧の備蓄は厨房で最低3日分は確保する(現在既に実施)。今後は厨房と確認し連携してGH独自の必要な日用品(トイレ用品など)を確保する。	2ヶ月
4					1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。